

五事を正す

題字 五事を正す 揮毫 大洲市立粟津小学校専門員 向井 洋子 解説は3面

退職後、家庭菜園を耕し、早十年になります。現職時、四年生を担当していた時のことです。挿し木で育てる植物の学習をしていた際、菊やあじさい、さつま芋等の挿し木の中に、ひまわりのつぼみも挿してみました。付くだろうか、どうだろうか、ワクワクしながら試みたのです。その時は、雨も多く、気象条件が挿し木に適していたのか、稀には付くことがあるという、ひまわりが花を咲かせたのです。それは驚きと共に発見でした。そのことを思い出し、今年、四種類のさつま芋やトマト苗から、脇芽を挿し、時期をずらして育てています。



自然から学ぶ

元愛媛県教育会理事

高橋 篤 世

更に、キュウリの脇芽も挿してみました。トマトやさつま芋のようにはいきませませんが、根をおろし、実をつけたのです。それらの力強さ、凄さに感動です。また、いろいろ栽培する中で、キュウリや、ぶどうのまきひげの不思議さや、生命力にも驚かされます。長いひげの先端を動かしながら、支えを捜すのです。支えを見つけると、それまで、まっすぐだったひげが、自分の身を支えるように、支柱に巻き付き、実をつける準備をするのです。

このように、個々の植物のもつ遺伝子の不思議な構造に発見や驚き、学ぶことが多く

孫にも、その植物の神秘に触れさせたり、体験させたりして、自然環境に、興味・関心を持つよう導いています。アメリカの哲学者、エマーソンは、次世代を担う子ども

の育成として

- 一、自然から学ぶこと
- 二、過去の英知から学ぶこと
- 三、書物を読むこと
- 四、行動すること

と教えています。

教職から離れ、十年経つ今も、観察したり、実験したりしながら野菜を育て、その不思議な力や生命力からパワーを頂き、土が造り出す自然の力に感動し、そこから学び、大地の恵みに感謝しながら、日々を過ごしております。

昭和四十一年に設立以来、今年、愛媛県教育会は五十周年を迎えた。先日「周年」の記念行事を無事終えることができた。一口に五十年と言ってもなかなかピンとはこないが、半世紀と言え換えるとその時間の重さに改めて気が付く。さて、この「周年」について。学校でも、会社、団体においても、周年行事を実施し、それまでの歴史に思いを馳せたり、新しく一歩を踏み出すきっかけにしたりする。▼結婚においてこの周年はよく話題になる。一周年は「紙婚式」、五周年は「木婚式」、そして十周年は「アルミ婚式」。二十周年は「磁器婚式」、そして二十五周年は「銀婚式」、松山の市内電車の車体に「赤い糸、五十年たてば金の糸」とあるように「五十周年が、金婚式」。年を重ねることに、固くそして重厚さが増してくるようだ。ちなみに「ダイヤモンド婚式」は六十周年とか▼五十周年を迎えた愛媛県教育会。次は、ダイヤモンドとなるべく、固い絆を紡いで、今までの半世紀の歩みを未来につなぐべく、六十周年を目指し一歩ずつ歩みたい。



発行所
 (公財)愛媛県教育会
 〒790-8545
 松山市祝谷町1丁目5-33
 エスポワール愛媛文教会館内
 電話 (089)945-8644
 F A X (089)945-1459
 E-mail info@ehime-kyoukukai.jp

- (2) 学校紹介 白浜小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 私の趣味・特技
- (5) 日連教務木大会提案要旨
- (7) 「えひめ教育の日」の取組
- (8) ふるさとスケッチ

響

昭和四十一年に設立以来、今年、愛媛県教育会は五十周年を迎えた。先日「周年」の記念行事を無事終えることができた。一口に五十年と言ってもなかなかピンとはこないが、半世紀と言え換えるとその時間の重さに改めて気が付く。さて、この「周年」について。学校でも、会社、団体においても、周年行事を実施し、それまでの歴史に思いを馳せたり、新しく一歩を踏み出すきっかけにしたりする。▼結婚においてこの周年はよく話題になる。一周年は「紙婚式」、五周年は「木婚式」、そして十周年は「アルミ婚式」。二十周年は「磁器婚式」、そして二十五周年は「銀婚式」、松山の市内電車の車体に「赤い糸、五十年たてば金の糸」とあるように「五十周年が、金婚式」。年を重ねることに、固くそして重厚さが増してくるようだ。ちなみに「ダイヤモンド婚式」は六十周年とか▼五十周年を迎えた愛媛県教育会。次は、ダイヤモンドとなるべく、固い絆を紡いで、今までの半世紀の歩みを未来につなぐべく、六十周年を目指し一歩ずつ歩みたい。

ひとこと

校歌の旅



愛媛県教育研究協会 副会長 吉田 京子

♪蜜柑や枇杷にかこまれた
♪楽しい夢の学び舎に
♪読み声 うたもかけこえも
♪緑の空に 舞いあがる
♪南山崎 気も澄んで

初めての勤務校、南山崎小学校。三年生の学級担任となり、無我夢中の日々を過ごしました。

♪朝日 稲荷の 森高く
♪窓に そよそよ 瀬戸の風
♪我が 学び舎に 友だちと
♪平和のもとに 築こうよ
♪質実にはた なごやかに

二度にわたって一一年間、音楽専科として勤務した北山崎小学校。木造校舎で歌声を響かせました。

♪緑の丘の そよ風うけて
♪すすすくのびる 由並の子
♪みんな仲良く 肩くんで
♪元気に学ぶ 双海の子
♪胸に希望が 燃えている

校長として初めて勤務した由並小学校。三階から見ると

日は最高でした。

♪泰皇山の みねの雲
♪あおいで高き 理想もち
♪みんな仲良く つどいきて
♪今日も学ぼう いざともに
♪われら中山小学校

母校、中山小学校。朝会や行事等で子どもたちと一緒に歌うたびに、小学校の頃がよみがえってきました。

♪学びの庭に 仰ぎみる
♪行道山の ふかみどり
♪御空をそそる 山のおに
♪登らん道は こごしくも

教頭・校長として二度勤務した伊予小学校。最後の年は新校舎で快適な日々を過ごしました。

♪舟音高く 伊予灘あけて
♪希望の風のそよ吹くところ
♪清く明るく 心は澄みて
♪いざや歌わん声高らかに

三十代の八年間と現在勤務している郡中小学校。新任式で子どもたちの多さに圧倒されました。

全ての学校が私にとって は、かけがえのないふる里になりました。在校生はもちろん卒業生も、その学校の歴史や思いを感じ取りながら、校歌を歌い続けてほしいと思います。

(伊予市立郡中小学校校長)

学校紹介

No.171

八幡浜市立白浜小学校

白浜っ子としてやてや踊り

白浜小学校は、八幡浜市の中心にあり、百二十三年の歴史をもつ伝統ある学校です。

「海がある 山がある 空に光があふれる♪」白浜小学校はそんな地域にあります。正門を出て、真っ直ぐ数分歩くと海があり、ロープでつながれた漁船が湾内のやさしい波に揺れています。また、海沿いに広がる段々畑では、東京にも出荷されている日の丸蜜柑が太陽をたっぷり浴びて栽培されています。最近では平地部の再開発が進み、道路の拡張・八西トンネルの開通、温泉施設の建設も進んでいます。古きよき心意気と新しい時代の活気が共存しています。

そんな地域に育った白浜っ子は、人なつっこく、カラッと明るく元気です。十年以上続いているハイタッチの朝挨拶は有名です。市内の水泳・陸上記録会や音楽発表会などでも、ものおじしない性格で、毎年年いい成績を残しています。その白浜っ子の気質が存分に発揮されるのは、「テヤテヤウェーブ（八月）」と「みなと祭」でも踊り競演大会（十月）です。二つとも八幡浜市の伝統的な「てやてや音頭」をアレンジして市内を練り歩く大きなイベントです。

ちなみに、「テヤテヤウェーブ」では、平成二十三年から四年連続優勝（昨年は荒天のため中止）、「こども踊り競演大会」は、平成二十六・二十七年「太陽連（六年生）」が二連覇を達成しています。期間中は、PTA・教職員・児童が一体となって練習に取り組みます。

白浜小学校の踊りの特徴は三つあります。一つは、踊りが大きいことです。かなりの距離を踊り歩きますが、白浜っ子は最後まで手を抜きません。両手を大きく広げ、ひざも深く曲げて踊り切りま

す。二つ目は、全員の踊りがそろっていることです。全員

の楽しむ心が一つになります。三つ目は、声の大きいこと

です。朝挨拶や学校に来られた方への挨拶など、普段の態度がここで発揮されます。

さあ、今年も楽しく力強く踊ります。

「あつい血潮が流れてる♪」

(教頭 森田 二)



題字に寄せて

五事を正す



大洲市粟津小
専門員
向井 洋子

近江聖人中江藤樹先生の教えには、「致良知」「孝行」「知行合一」などありますが、そのうちの一つです。

「五事」とは「貌、言、視、聴、思」を言い、それを正すとは、なごやかな顔つきをし、思いやりのある言葉で話しかけ、澄んだ目で物事を見つめ、耳を傾けて人の話を聴き、まごころ込めて相手のことを思うことです。

ふだんの生活や、まわりの人々との交わりの中で、自ら五事を正すことが、良知（人が本来持っている美しい心）をみがき、良知に致る大切な道であるということです。

いつもそうでありたいと思っています。

ふるさとに生きる

『嚴而慈』

花を愛で 人を愛す



皆見 郷史先生

訪問者

河村 宗敬
越智 英治
(西条教育会)

皆見先生のお宅に『嚴而慈』の額が飾られていました。皆見先生との対談を通してそのお人柄は正に「げん しこうして じ」でした。

一 今の教育界に思う

子どもや保護者に出会ったことに感謝して、愛情をもって接し育てることが大切である。それは誰しももっている人間愛である。また、人と人とのつながりを密にしてほしい。それが組織力になっていくのではないだろうか。私は教えるから多くのことを学んだ。OBとして、現場の先生方との交流を密にしたい。私はずっと大切にしている生き方の一つに「誰かの役に立つ、何かで役に立つ」ということ

がある。地域のOBを活用してほしい。

もう一つ思うことは、地域の歴史・文化を、先生方や子どもたちに知ってほしい。先人が築いた歴史・文化を学ぶことはふるさとに愛着と誇りがもてる人材を育てることにつながる。

二 春蘭に育てられる

四十八年前、自然の中で咲く春蘭の品格のある美しさに魅せられた。それ以来春蘭や寒蘭、えびねを育てている。今思うに、私は春蘭から多くのことを学んだ。春蘭は奥が深い。気候や風土、そして育て方によって毎年違う花を咲かせる。自分の思い通りの花は十年に一度あるかないかで

No. 87

ある。けれども春蘭の花にはやさしい雰囲気があり、私を優しい人にしてくれる。春蘭を育てることは、飽くなき探究心と辛抱することである。私は春蘭に人間としての大切なものを育てられていると、今、思っている。

三 対談を終えて

対談を終えて、皆見先生のお宅にある温室に案内をしていただきました。約五百鉢ある蘭について語られる皆見先生の姿は、まるで蘭の一鉢一鉢が、皆見先生が大切にしてくられた多くの子どもたちや先生方、そして後輩の私たちを観る姿と重なりました。優しさと厳しさ。まさに『嚴而



慈』のお姿でありました。「つながりは、日々の積み重ね」「多様性を認める寛容さ」「自主独立の大切さ」等、この対談で人間として、また、教師として大事なことをご示唆いただきました。紙面の都合上、全てを載せられないのが残念でなりません。

今後も皆見先生とのつながりを大切に、OBの先輩方とのつながりを広げていき、先輩方が築いてくださった西条教育を継承していくことの大切さを感じました。

皆見 郷史先生 (77歳)

(西条市大町在住)

オフィスのごことは何でもご相談ください。



AGUSAS

AGENT FOR USERS WITH SUPPORT AND SOLUTIONS

株式会社アグサス

http://www.agusas.com

特集 私の趣味・特技

結の心

水引によせて



四国中央教育会 OB
合田 厚子

退職して早六年目。かつてお世話になった先生のご指導を得ながら、呆け防止の為に指先をしっかりと動かしほんの少しの工夫をして、水引細工を楽しんでいます。教職最後の四年間勤務した学校が、水引細工の盛んな地域に存し、子どもと共に水引について学習したり水引体験をしたりと関わりが深く、地域の伝統工芸士の方にも大変お世話になりました。その縁が、私と水引との出会いでした。

水引の起源は古く、遣隋使の小野妹子が帰国の際に一緒に来た随の使者からの献上品に、紅白に染め分けた麻紐が結ばれていたことに由来し、宮中や貴族の間にその習慣が広まり江戸時代に一般庶民へ

と広まったそうです。水引は、「元結」から日本のよき文化である「包む文化」・「結びの文化」と相俟って発展してきました。水引には、様々な基本的な結び方があり、それらを組み合わせたり応用したりして作品に作り上げていきます。私にとっては中々難しい事もあるのですが、「祝松」や「宝船」等々作品が完成した時の成就感が元気の源です。

水引は、結ぶ人も届ける相手の人も「幸せであってほしい」と願って、一本一本に心を込めて結び、結ぶことによつて願いをその中に封じ込めてきました。絆を結び縁を結び、弥栄を願う水引細工。日本のよき伝統に息づく心を忘れず、人と人との縁を大切に結びながら、世界に一つの作品をめざして、今日も楽しみながら励んでいます。

『水引を結びて優しき
夏の夜』

私の小さな旅



新居浜教育会 OB
伊藤 勁盾

私の趣味は旅行です、と言えるほど旅はしていませんが、ただ一か所、夫婦で十数年來通っている場所があります。

近頃県内でもアサギマダラ(渡りをする蝶)の事が報道されているのを見かけます。マーキング活動に取り組んでいる学校もあるようです。この蝶は、昆虫採集少年だった頃の私の憧れの蝶でした。その蝶が、十数年前一頭、ひっそりと我が家の庭のフジバカマに降りて来てくれました。清楚で優雅なその姿に出会い、お付き合いが始まりました。

春の北上、秋の南下の際に休息地となっている大分県国東半島の北に浮かぶ小島、姫島があることを教えてもらい年二回の姫島通いが始まりました。島内に自生する春のスナビキソウ、秋のフジバカマに集う大群の蝶の舞いは息を呑む美しさです。また飛ぶ姿

が優美で、フワリフワリと風に漂うこの蝶が、海越え山越え何千、何百kmを移動するのは到底信じられません。しかし「謎の蝶アサギマダラはなぜ海を渡るのか？」の著者栗田昌裕氏(島でよくお会いした方)は、「アサギマダラは小さな「虫けら」ではなく、人と同じ未来を模索し進化を続ける「心をもった生命体」に他ならないのです」と長年の研究から述べられています。

我が家の大切な年中行事のこの小さな旅、これまでも多くの方々との出会い元氣付けられてきました。今年もアサギマダラが結ぶ新しい出会いを楽しみに出掛けるつもりです。

私の趣味



清水小市論
山教
谷川美津子

私の趣味は音楽です。と言っても音楽専科だから当たり前のことなのですが、大学は音楽専攻でした。副々科では楽器を貸してもらえなかっただけでチェロを選びました。が、すぐにその音色に惹かれ、主科オーケストラに入れてもらい(たまたま同じ学年にチェロ専攻がいなかったの)卒業しました。

美川中央中学校に赴任して間もなくのことです。大学の先輩から電話が入り、「楽器担いで〇〇楽器店の前で待ちよれ」とのこと。こわーい先輩のことですから言われるがままに待っていると、車に乗せられ愛響の練習場へと連れていかれました。紆余曲折ありましたが、チェロの魅力に取りつかれそれから三十六年間続いています。なぜ続いているのか、一人では味わえないオーケストラの響き。プールの指揮者やソリストとのスリリングな共演。音楽仲間との楽しい会話(いろいろな年代や職種)。えひめ子どものための音楽会で目を輝かせて聴いてくれる子どもたち。ただ自分のテクニクには不満がいつぱい。なかなか四国にはチェロの先生はいません。最近素晴らしいチェリストと出会い五十の手習いで、ただ今特訓中です。ますますこの楽器に魅かれ、きつとこの趣味は一生続くことでしょう。

陸上競技にひかれて



西予教育会
OB
赤松 豊

終戦後の学生時代、陸上競技にのめり込み毎日走り続け食糧不足の中、何をどれだけ食べエネルギーを得ていたのかの記憶はない。

学友同士の支え合いで走・跳・投の研究練習は、体育指導の基盤として生き続けた。

三十余年公認審判員として競技者から学ぶことも多かったが、加齢に伴いその任を辞し、マスターズ陸上競技会員に登録、老化して走れなくてもできる投擲(砲丸・円盤・槍)を選ぶことにした。

テレビや大会で観戦する投擲選手は並外れた体格であり、自分の周囲でも堂々とした体格の持ち主がほとんどである。

マスターズ陸上競技大会は、県大会をはじめ、国際大会まで広範に開催され、そのすべてに参加し、新記録や首位を制した仲間が県内にもいる。この競技は五歳刻み制度で

気楽に競技を楽しめるが、順位も当然競うことにはなる。

順位は他者との関係であるが、自己記録維持に関心を持ち、練習の工夫、体力保持の生活化に心がけている。

どんなスポーツでも共通点として、合理的フォームは、競技者の体格・体力を生かし成果を残し、勝敗に繋がる。

競技を続けるためには、他者のフォームを見て学び、自己に合ったトレーニングを大事にしたいものである。

現職時代、生徒たちに生涯学習・生涯スポーツを説いてきた手前もあり、頭と体を長く動かし楽しみたいと考える。

軍艦島の思い出



北宇和教育会
OB
名本 昭一

私の趣味は、俳句作りや書道などいろいろあるが、他にも、旅をすることも趣味の一つである。

二月十五日、長崎市の軍艦島に向かった。三崎港では、いつもより波があり、島への上陸を案じながら佐賀関港に

着いた。その日の長崎は、最高気温十二℃、最低気温三℃で、松野町の気温とほぼ同じくらいであった。

軍艦島(端島炭鉱)は、長崎港から約十八キロ離れた海上に浮かぶ小島である。その姿は、北西から見た島影が軍艦「土佐」に似ていることから、「軍艦島」と呼ばれるようになったとのこと。三菱社

が明治二十三年、端島を買収したことに始まり、強粘結炭の良質な原料炭を産出する炭鉱となり、太平洋戦争が勃発した頃には四十万トンの出炭業績があつたらしい。昭和二十五年頃の人口密度は、一ヘクタールに千四百人以上の人が住み、人口密度は世界一

だつたそうである。十六日の朝、軍艦島に上陸予定で長崎港に行く。軍艦島にはトイレや自動販売機などがないと聞いていたので、すべて準備していくと、遊覧船は波が高くて欠航とのこと。

楽しみにしていた軍艦島上陸だつたので、期待がはずれた。そのため、港の側にある軍艦島デジタルミュージアムに行くことにした。全長約三十メートルのスクリーンに、明治

二十三年、三菱が採炭を開始してから、昭和四十九年炭鉱閉山までの姿を見ることができ、世界遺産に登録された「端島炭鉱(軍艦島)」の全容を知ることができた。貴重な動画資料をもとにして、カラージュ手法で放映され、当時の空気を体感することができた感じがする。

小島での運動会やお祭り、屋上に土を持ち上げての大根作りなど、協力し合って生活してきたことが現在でも続いているそうである。また、同窓会も開かれているなど、團結する心も変わらないらしい。すばらしいことが続いている軍艦島。今回は残念ながら行くことができなかったの、またいつの日か、軍艦島に上陸する機会をつくってみたいものだと思っている。

(公財)愛媛県教育会委員

◆経営委員(平成27年度)

- | | |
|-------|-------|
| 田鍋 修 | 井門 照雄 |
| 大内 由美 | 稲田 邦雄 |
| 竹場 忠芳 | 松田 悦紀 |
| 尾上 眞一 | 皆川 真美 |
| 和田 政也 | 松本 和志 |
| 菊川有里子 | 新谷 敏明 |
| 中尾 順子 | 遠藤 公人 |
| 吉田 京子 | |
| 森田 悦雄 | |

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から12%割引、一括払でさらに5%割引になります。保険料のお支払いは給与引去となります。教員OBの方も口座振替(一括払)で適用されます。



— 引受保険会社 —

- 東京海上日動火災保険(株)
- 三井住友海上火災保険(株)
- 損害保険ジャパン日本興亜(株)

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

トリムイオン整水器のご案内

毎日飲む水。だから身体にいいものがイイ。トリムの電解水素水は、たくさんの水素とミネラルを含んだアルカリ飲料水。「水を飲む」ことから生活改善を始めてみませんか?



お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

日連教栃木大会分科会提案要旨

ねらいのぶれない道徳の授業づくり

― 価値観分析に基づいた補助発問の工夫を通して ―



松山市立潮見小学校

教諭 赤松 聖 則

一 研究協議題とのかかわり
「豊かな人間性とたくましい実践力を育む道徳教育」を目指す上で、本校が特に大切にしていくことは、要となる道徳の授業の充実である。ねらいに即した一時間一時間の道徳の授業の積み重ねが、児童の道徳性を徐々に、そして着実に養うことにつながり、ひいてはそれが児童の豊かな人間性を育むことにつながる

と考える。

二 研究のねらい

ねらいのぶれない道徳の授業を成立させる上で、重要な役割を果たすのが発問である。ねらいに迫るための中核的な問い掛けとなる中心発問はもとより、状況に応じて適宜必要となる補助発問は、ねらい達成のために特に重要な役割を果たすと考える。しかし、発問、とりわけ補助発問の効果的な運用については、これまで多くの課題があっ

た。そこで、本研究では、その改善を図るべく、価値観分析に焦点を当て、それに基づいた効果的な補助発問のあり方について探っていくことにした。

三 研究の実際

(一) 発問のより所となる価値観分析について
発問の設定についてこれまでの実践を振り返ってみると、この価値観の資料なら、この発問で何とかなるであろうといった安易な考えに基づいたものが多かった。つまり、発問を考える上で、そのより所となる価値観分析を十分にしていることがなかった現状があった。価値観とは、価値観、児童観、資料観から成る指導観の一観点であり、簡単に言えば、本時扱うねらいとする

「価値」(内容項目に当たる道徳的価値)に対する教師の「価値観」(道徳的価値に対する見方・考え方)を明確にした

ものである。価値観分析とは、この価値観を指導者が明らかにしていくことを指す。ここで明らかにした価値観に基づき、児童の実態に応じて本時のねらいが定まる。そして、発問が方向付けられるのである。中心発問にしても、補助発問にしても、その第一の役割は、価値観分析によって明らかにした本時扱う道徳的価値に対する多様な価値観を児童から引き出すことにあると考える。

(二) 中心発問と補助発問の役割について

本研究においては、中心発問を児童の多様な価値観を引き出すための入り口だと考えている。中心発問後、児童は登場人物の口を借りてその考えや思いを書いたり、語ったりする。この段階で大切なことは、その語りの中に本時扱う道徳的価値に対する児童の価値観が含まれているかどうかという点である。しかし、これまでの実践において、この段階で価値観が十分に表れていることは少なく、登場人物の気持ちの想像や心情理解に留まっていることが多かった。そこで、価値観を引き出すために補助発問が必要となる。補助発問を通して、児童の価値観、つまり本時扱う道徳的価値に対する児童の思い

や考え方を引き出すのである。そこで引き出した価値観を話題の中心に据えた上で、必要に応じてさらに補助発問をしながら児童が価値観を広げたり、深めたりできるように教師は授業をコーディネートしていくのである。つまりこれは、多面的、多角的に価値を児童自身が考えていくアクティブ・ラーニングに基づく「考える道徳」を具現化するものである。

(三) 補助発問の問い方について

価値観を引き出す補助発問の問い方として、本研究では、二つの方法に分けて考えている。どちらの問い方が適切かどうかは、資料の特性や児童の実態、これまでの指導の経緯によって異なる。どちらの問い方をするにせ

よ、そのより所となるのは教師の価値観分析である。限られた授業時間の中で、ねらいに迫る効果的な補助発問を行うためには、価値観分析に基づき、授業のどの場面で、何をどう問うか、腹案をもっておく必要がある。

四 研究の成果と課題

価値観分析を授業づくりの根幹に据えることで、補助発問はもとより、全ての指導をぶれずに行うことができた。今後は、指導に伴う評価の在り方について、さらに、研究を深めて参りたい。

補助発問の問い方	
①間接的な問い方	中心発問に対する児童の考えの中から、本時扱う道徳的価値に対する価値観の片鱗が見て取れる部分に着目し、その根拠や理由を問い返して聞くことで価値観を明確に引き出すという方法 (例) T「〇〇と思ったのはどうして? 理由を聞かせて」 T「なぜここでAさんは悲しくなったのかな?」
②直接的な問い方	中心発問に対する児童の考えを一通り聞いた後に、本時扱う道徳的価値に対する価値観について、直接的に問い、引き出すという方法 (例) T「本当の友達って、どんな友達なの?」 T「Bさんがここで大切にされたことって何だろう?」

訂正 七月号において、二面文教月報編集協力委員紹介欄で、横山泰茂様の所属名「新居浜OB」を「今治・越智OB」と誤記したこと、同面の積立年金経営委員紹介欄で、「橋本佳史様」を「岡本佳史様」と誤記したことをお詫びし、訂正いたします。また、27年度経営委員の名簿が26年度のものとなっておりますことも含わせてお詫びし、五面に訂正名簿を掲載させていただきました。

西条市から、愛顔の「わ」をひろげよう
「えひめ教育の日」
 推進大会
 推進フェスティバル

「えひめ教育の日」制定から九年。県下各地に「教育の日」の趣旨が浸透してきています。

昨年、東予地区から南予地区へとつながった「教育の日」のバトンは、今年、東予地区西条市に引き継がれました。西条市で、九年目の推進大会と推進フェスティバルを同日開催する予定で計画を進めています。

**「えひめ教育の日」推進大会
 推進フェスティバル**

- 一 日時 十月三十日(日) 十二時三十分から
- 二 場所 西条市総合文化会館 (西条市神拝甲七九一四)
- 三 内容

開会式

- ・主催者あいさつ
- ・来賓祝辞
- ・関連写真の表彰

祝 受章おめでとうございます

◆瑞宝双光章 (高齢者叙勲)
 大星 通様 88歳 元五十崎町立五十崎小学校校長 内子町

推進テーマ **“わ”をひろげ愛顔かがやく えひめっ子**

— 西条市のゆるキャラ —



カブちゃん チャップン爺やん

推進フェスティバル

- ・古代山城サミット 学習発表 楠河小
- ・琴演奏 西条西中
- ・合唱 西条高
- ・三芳祝太鼓 三芳小
- ・西条農業高校・丹原高校
- ・東予高校・西条高校
- ・小松高校

記念講演

講師 諸富 祥彦氏
 (明治大学文学部教授)
 演題 「ふれあいが心を育てる」
 共催団体 えひめ若年人材育成推進機構

「教育の日」関連写真募集

推進テーマ「わ」をひろげ愛顔かがやく、えひめっ子」に沿ったもので、PTA主催(協力)により夏季休業中等に実施した行事の写真を募集しています。

- ・親子参加の行事
- ・地域住民参加の行事
- ・防災教育、奉仕・体験活動、キャンプ、学習会等

※表彰・写真展など
 県庁ロビー・文教会館・教育の日推進大会会場、教育会HP、文教月報

※締切・送付方法など
 L版またはハガキ版写真を現物(持参郵送)または電子データ (info@chime-kyoukukai.jp)で九月三十日までに、「えひめ教育の日」推進会議事務局 (〒七九〇一八五四五 松山市祝谷町一五―三三)へお送りください。
 (詳細はHPを参照)

駐車場は用意しとるけん。



愛媛県イメージアップキャラクター **みきゃん**

ローカルトピックス

鬼のいる道の駅

道の駅「森の三角ぼうし」に、巨大な鬼のモニュメントが姿を現し、鬼北町のちよつとした観光スポットになっています。一年が経過した今もなお、県内外から家族連れらが訪れ、カメラに収める様子が見られます。鬼の効果もあって、地元の農産物や加工品の売れ行きも伸び、好調を維持しているとのこと。

もう一つの特徴は宝くじ売り場が併設されていることです。これまでにこの小さな売り場から高額当選もあったというので、幸運を運んでく



教職員の皆様のための「教弘保険」

- 34歳までは「ユース教弘」
- 35歳からは「新教弘保険」

ジブラルタ生命保険(株)は公益財団法人日本教育公務員弘済会の共済事業(提携保険事業)の提携会社として、60年以上にもわたる提携を通じて教職員の皆様の福祉向上のお手伝いをさせていただきます

ジブラルタ生命保険(株) 松山エリア
 TEL089-913-8780/Fax089-913-8789

文教月報編集協力委員
 北宇和教育会OB 松浦 幹生

れる鬼としても期待度が高まっています。どの道の駅も工夫と努力によって楽しみ方が広がってきているようです。ドライブの際には是非、道の駅に立ち寄り、土地の地域性を感じていきたいものです。

さて、鬼北町へは車が便利ですが、予土線を利用し、人気のホビートレインに乗ると楽しさ倍増です。また、少し遠くの「海洋堂ホビー館四万十」を見学すると、筋骨隆々とした恐ろしい鬼のルーツを探ることが出来ます。

ふるさとスケッチ

No.392

青春の「コマ」

亀山小学校講堂



今治・越智教育会 OB 寺尾満寿男

今治方面からサイクリングで来島海峡大橋を降りると、そこは大島。近くに亀老山が見える。ふもとに私が新採時から八年間勤めた亀山小学校があった。目に焼き付いているのは古風な講堂だ。そこで毎朝子どもたちと剣道で汗を流した。また、体育では亀老山に登ったり、理科や社会では



近くの川や海に行ったり、図工では学校周りの絵を描いたりした。自由で大らかな時代だった。その時教え子と描いたのがこの講堂だ。世界に二つとない最初で最後の絵だ。

ご冥福をお祈りします

佐々木幹男様	81歳	松山市清水町二丁目二一六	28・4・23
和田 幸信様	84歳	松山市鷹子町三〇一	28・6・4
石川 富代様	85歳	新居浜市東田二甲一四三	28・6・5
清水 浩夫様	84歳	松山市新浜町一四一八	28・6・6
波多野 光様	87歳	松山市御幸二丁目二二一	28・6・7
日野 廣治様	92歳	西条市吉田四〇	28・6・16
戒田 光一様	90歳	伊予郡松前町北川原字塩屋四七〇	28・6・16
森 敬藏様	85歳	八幡浜市保内町川之石二一八	28・6・21
小澤猪三睦様	91歳	今治市阿方甲一四三三	28・6・21
一色 邦利様	100歳	松山市永代町一四一六	28・6・29
矢野佳次男様	96歳	大洲市西大洲甲一九五〇	28・7・2
西山 功様	79歳	伊予郡砥部町高尾田八三	28・7・8
一色 敏雄様	97歳	松山市御幸二丁目一三三	28・7・15
菅 昇様	89歳	新居浜市八雲町二一七	28・7・18

お知らせ

公益財団法人愛媛県教育会 創立50周年記念式典・講演会



昭和四十一年三月十日にスタートした本会が、今年で創立五十年を迎えました。

去る六月二十五日、これまでの歩みを振り返り、子どもたちや教職員、OB会員のこれからのあるべき姿を改めて考え直してみる会をもちました。仙波副知事様はじめ、多くのご来賓をお迎えし、会員とともに二六〇名の参加をいただきました。

講演会では、愛媛大学副学長三浦和尚先生に「地域の教育・文化とともに」と題し、「自分の一冊をもつ子どもに」

「好きだと打ち込めるもの」ところがある子どもに等、笑いを散り始めわかりやすく話していただきました。後日、記念誌としてまとめますので、ご一読いただけたら幸いです。



熊本地震への 義援金のお礼

愛媛県教育会が五月より実施してまいりました熊本地震で被災された地域への義援金による支援活動に、多くの会員の皆様、地区教育会のご協力をいただきありがとうございます。六月末現在、募金額九一七、〇六五円となりました。過日、熊本県健康福祉課指定口座に入金しました。更なる被害が生まれないこと、一日も早い復興を皆様とともに願いたいと思います。

文教の いもたき会ビアホール

好評です！屋台メニュー

- ・お一人様(食べ・飲み放題) 3,200円
- ・9月28日(水) 9月29日(木) 9月30日(金)
- 小グループでお気軽に

エスポワール文教会館(089-945-8644)

足跡をつづる、私を記す、形に残す。あなたが生んだドラマを未来に残させよう。

受賞作品 多数制作

本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします！ プロのデザイナーがデザイン力を発揮します！

- 規格・裁丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ●その他、ご相談承ります。

ご注文・お問い合わせは 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

愛媛本社 830-8897(111) TEL (089)945-1111 東京本社 東京都港区新橋4-11-2 TEL (03)3771-2290 福岡 大塚 福岡 5-5-1 TEL (092)270-5866